

がんゲノム医療連携委員会

Plan 計画

- 1 当病院のがんゲノム医療のシステム継続と見直し。
- 2 漏れがなく、確実な運営システムの構築。
- 3 院内及び院外に向けてのがんゲノム医療の広報活動。
- 4 エキスパートパネル(毎週金曜日の web)へのスムーズな参加
- 5 東京大学医学部附属病院との密な連携継続
- 6 がんゲノム医療における個人情報保護。

Do 実行

- 1～2
がんゲノム医療連携委員会等の開催。
 - ・院内フローの改定(GenMineTOPの登場に合わせて)
 - ・各診療科、部署との業務内容確認、連携。
 - ・がんゲノム医療についての院内周知。
 - ・臨時の連絡会(情報交換会)の開催。
- 3 HPの改定。(随時更新)
- 4 エキスパートパネルに参加を呼びかけ・確認。
- 5 東京大学医学部附属病院との連携・調整。
 - ・病理検体等の発送方法の確認。
- 6 個人情報保護のため Google ドライブの活用。

Action 改善

- 1 院内フローの運用に不具合があれば随時修正する。
- 2 主治医への連絡がきちんと行われているが随時確認する。
- 3 院内での認知を随時確認する。
- 4 エキスパートパネルの度に web 参加状況を確認する。
- 5 東京大学医学部附属病院と連携し、常に情報交換を行う。
- 6 電子データや書類の紛失、院外への漏洩がないかを常に確認を行う。

Check 評価

- 1 がんゲノム医療連携委員会での確認・検討をした。
- 2 入院中にかんゲノムプロファイリング検査は出来ないことの周知をした。
- 3 委員会委員を通じての広報を行った。
がん診療連携拠点病院院内協議委員会への報告をした。
- 4 主治医のエキスパートパネルへの参加を随時確認した。
- 5 東京大学医学部附属病院への報告。(Webによるエキスパートパネルでのchat機能活用など)
- 6 個人情報の問題は起きなかった。